



すみれ通信



2020年 7月 第2号

4・5月は新型コロナウイルスの影響で、思い通りに生活が出来ない日々が続きましたね。6月からどんな生活が始まるのかと不安もありましたが、すみれ組に久しぶりの賑やかさが戻り、元気いっぱいな姿に安心しています。表情が凛としたり、よく話しかけてくれるようになったりと、一人ひとりに変化が見られています。様々な面で制限され、大変な時期ではありましたが、家族で過ごす時間が増えた分、心が満たされたのでしょね。いろいろとご協力頂き、ありがとうございました。



ここ最近、『好きな遊びを遊びこむ』から、『協力して何かを作る』に変わってきた様子が見られます。様々な『協力』が見られたので、紹介しま

◆「大きな山を作ろう！」の一言が始まりでした。数人では大きさの限界を感じ、「誰か手伝って～」と叫ぶ女の子。「手伝おうか？」と頼もしい男の子。ある程度の大きさになると、一度完成を喜ぶも、「飾り付けをしよう」との提案に、自由な飾り付けが始まりました。完成に至るまでに「それ変だよ！」「そこにやらないで！」と、たくさんのぶつかり合いがありました。最終的に一つの作品が仕上がりました。



◆担任が牛乳パックでロボットを作り、あえてお部屋に放置…。最初は牛乳パック丸出しのロボットで遊んでいたのですが、「飾り付けしていい？」と一人の子から質問が。『いいけど、何で飾り付けする？』と聞くと、「クレヨン！」と。大人からすれば、牛乳パックにクレヨンねえ…。と思いますが、子どもにとっては何事も経験！クレヨンで描いてみるも、もちろんうまくいきません。次に、「紙を貼る！」と意見がまとまったので、折り紙を渡すと楽しく貼り出しました。でも脇や足の間等、入り組んだところがうまく貼れずに四苦八苦。「ちぎって貼ればいいんじゃない？」という男の子の一言に、どんどんロボットは仕上がっていきました。ロッカーの上から、いつもすみれ組を見守っています。機会があったら見てみて下さい。



◆大きなタワーを作りたい！でも一人で作るには、数が足りない…。そこで2・3人が声を掛け合い、一緒にタワーを作りました。次第に友達が集まり、最終的には大きなタワーが仕上がりました。



◆給食で出た
サクランボの

種を見て、「これを植えたら何になる？」と素朴な疑問が沸いた子ども達。試しにみんなで種を植えました。果たして芽は出るのでしょうか…?! 生長が楽しみ♪

